

Ⅱ 章 - 3 . 活 動

防 犯 ・ 防 災【 安 全 ・ 安 心 な ま ち に し ょ う 】

子どもが犠牲になる事件や大規模な自然災害が度重なる中、改めて地域の安全・安心への関心が高まっています。万が一の場合に備え、日頃からみんなで協力し合い連帯感を深めることが重要です。個人や家族単位での備えはもちろん、住民と行政機関が連携し、地域ぐるみで防犯・防災力を高めましょう。

いつ起こるかわからない犯罪や災害に対応するため、3つの力を高めることが重要です。



防 犯 活 動 の 取 り 組 み

活動の基本として「地域のことは、地域で守る」という意識が大切です。

◆防犯パトロール

犯罪防止や子どもの見守りのために地域を巡回します。声かけやあいさつを同時に行うことで、住民全体の防犯意識や連帯感を高めることができます。

- ・ 気長に続けましょう。短期間で効果が生まれるものではなく、継続することが必要です。
- ・ 安全に行いましょう。できる範囲で活動することがポイントです。

◆スクールガード

住民と学校園が連携し、校区内や登下校時の通学路の安全確保を行います。見守る大人とのあいさつや会話等、コミュニケーションそのものが「守る」ことにつながります。

◆防犯教室

ひったくり等の犯罪対策や子どもの見守りに関する講義、ロールプレイ等を通じて、危険回避、危機対応能力の向上を図ります。

◆街路灯が消えていたら

まちを明るくすることは防犯面でも有効です。行政が管理する街路灯には、設置されている電柱などにステッカーを貼っています。電球切れなどに気付いたときは、ステッカーに記載されている街路灯番号を道路整備課に連絡してください。
(道路整備課 078-918-5033)



明石市街路灯番号

〇〇〇〇-〇〇〇-〇〇

☎ 912-1111

街路灯ステッカー

◆組織的に取り組む -防犯協会-

防犯パトロールや防犯知識の普及、相談活動、青少年の健全育成などのさまざまな防犯に関わる活動に取り組み、安全で明るく住みよい地域社会づくりを進めるボランティア組織です。

防災活動の取り組み

活動の基本は、万が一に備えて日頃から災害を想定して取り組むことです。

◆防災訓練

避難訓練、心肺蘇生訓練、消火訓練、搬送法訓練、炊出し訓練等を繰り返し実施することで、住民・行政・関係機関がそれぞれ役割を認識し、連携することが地域の防災力を高めます。

◆防災教室

災害への備えや対処法、AED の使用法、救急救命法、防災ビデオ研修、防災無線の講習会等を学ぶ場です。地域内の安全点検を実施し、防災意識を高める方法もあります。

◆防災倉庫の管理

倉庫を設置し、非常食、スコップ、つるはし、ヘルメット、救急用品等の防災用資機材を備蓄・管理し、災害に備えている自治会等があります。

◆組織的に取り組む -自主防災組織-

阪神・淡路大震災では、閉じ込められた建物等から救出された方の 95%が、家族、隣人などに助けられました。地域を自分たちで守るという連帯感のもと、校区まちづくり組織や自治会等を中心に活動しています。

◆避難行動要支援者名簿の活用（「個別避難計画」の作成）

市では、希望する自治会・町内会等に、災害時に自ら避難することが難しく、支援を必要とする方を登録した「避難行動要支援者名簿」の提供を行っています。名簿を入手して地域に支援が必要な人がいることを理解し、地域の民生委員・児童委員や福祉専門職などと連携して、災害時に地域で助け合える体制づくりに取り組みましょう。また、名簿掲載者の中で優先度の高い方について、避難方法やサポートする人等を決めておく「個別避難計画」の作成を進めています。自治会・町内会で計画の作成をご検討ください。

（名簿の提供…高齢者総合支援室高年福祉担当 078-918-5288 障害福祉課 078-918-5160）

（名簿を活用した防災訓練等の取組、「個別避難計画」の作成…福祉総務課 078-918-5025）

知 恵 袋

防 犯 ・ 防 災 活 動 へ の 敷 居 を 下 げ よ う

住民みんなで防犯・防災力を高めるために、日常からできる取り組みを工夫することが大切です。

一斉清掃と炊き出し訓練、ウォーキング会とあいさつ運動など、2つの事業を合わせて行います。地域行事に防犯・防災の要素を取り入れることで、自然と意識啓発につながります。活動に参加できない人には、犬の散歩や買い物などの外出時に少し目配りしてもらうことを呼びかけています。



非常時の持ち出し品（例）

- 飲料水、食糧〔乾パン、チョコ、氷砂糖、塩等〕
- 貴重品類〔通帳、印鑑、保険証、権利証等、現金（お札、小銭）〕
- 衣類、下着類〔ビニールに包む〕 ○衛生用品〔タオル、石けん等〕
- 医薬品類〔常備薬、消毒薬等〕 ○緊急時の連絡先メモ〔家族、親戚知人など〕
- 懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話、充電器、予備電池〔懐中電灯、携帯ラジオ等用〕
- その他〔ラップ、ろうそく、マッチ、ビニールの敷物、手袋、簡易カイロ（冬場）等〕
- リュックサック等〔上記の持ち出し品を入れて背負える物、中身が濡れない物〕

※ 緊急時に何が必要か、日常からよく考えて準備し、まとめて保管しておくことが大切です。